

本部·分団 階級

分団長

副団長

副分団長

班長

闭目

部長

班長

団員

団員

団長

分団長

分団長

班長

団員

団員

団員

団員

班長

班長

団員

団員

班長

班長

団員

団員

団員

刊員

団員

団員

西川

本 部

美良布

岩 村

猪野々

繁 藤 氷 野

本 部

楠 目

岡ノ内

片 地

新 改

永 野

大 栃

日ノ御子

ШШ

永 野

岩 村

美良布

繁藤

植

暁 霞

繁藤

岡ノ内

佐 岡

永 野

氏 名

梶原 茂英

為近 初男

福留 哲男

岡本 恭一

明石 満雄

武田 真広

西本 秀夫

白川 英紀

三谷 賢一

原 博彦

寺井健太郎

小松 国広

田村 幸喜

小松 功

萩野 泰志

毛利 哲三

野口 隆次

前田 幸彦

今井 嘉男

公文 正志

本井 孝明

山崎志津雄

小松 洋介

水田 征利

黒岩 久志

眞島 貴彦

亮

片岡

修

黒河

市川

降

谷内

4月28日、中央公民館で**香美市行政連絡会**が開催され、106人(自治会総数191)の自治会長が出席しました。

連絡会では『集落調査を現場でどう活かしていくか』と題して、図司直也さん(法政大学准教授)による講演が行われ、「物部川の上流部が元気であることが、市全体が元気であることにつながる」「行政の支援は集落によって現状が違うため、戦略と体制づくりが重要である」と話されました。

市からは、補助金や自主防災組織について説明があり、その後行われた質疑応答では、南海地震が起きた際に、永瀬ダムが決壊した場合の被害想定について質問があり、市は「ダムの管理者である県は、決壊を想定していない」と回答しました。なお、今年度、県は永瀬ダムの耐震性の調査を行う予定です。

消防大会表彰	
平成24年度高知県消防大会	
A R O C R H THE H TRICK DO THE OAK	

4月25日、県立県民体育館において**平成24年 度高知県消防大会**が開催されました。

当日は、県内の消防関係者が集まり、消防に関連する各種表彰が行われました。

香美市関係の表彰は表のとおりです(階級等は申 請時のもの、敬称略)。

このほか、成績優秀な消防団員の妻として、長年にわたり内助の功を尽くし、その功績が認められ、



▲知事から感謝状を受ける新谷さん



①池の上を泳ぐ150匹のこいのぼり。池ではかかしがこいのぼりを釣っています。 ②幅6m高さ4mのフラフがずらりと並ぶ。畑ではかかしが作業をしています。



4月下旬から5月中旬にかけて、神池なかよし会の主催より、安池 (物部町神池) 周辺に約150 匹のこいのぼりと15枚のフラフが揚げられ、多くの親子連れが訪れました。

この催しは、今回初めて行われ、こいのぼりは、同地区の女性住民が中心となり、市内外から集められました。池の上には約90mのワイヤーが3本張られ、豊かな自然の中、気持ちよさそうに泳いでいました。これらの設置費用には、市の元気な集落づくり支援事業費補助金(補助率75%)が活用されています。

シカからまれ ーボランティア集まるー

4月29日、**白髪山周辺でシカ被害防止のネット張り・ ラス網巻き作業**(三嶺の森をまもるみんなの会・高知中部 森林管理署主催)が行われ、約90人が参加しました。

木へのラス網巻きは、幹の皮をシカが食べてしまい、木 を枯らしてしまうため、被害防止を目的に行うもので、参 加者は一束約5kgのネットを背負い、作業場所へ移動し、 汗を流しました。

この作業は年数回行われており、主催者は多くの参加者を募集しています。



特別養護老人亦一厶建設開始



▲大栃に建設中の特別養護老人ホームの完成予想図

4月5日、市の公募により計画を進めてきた 物部町大栃に開設予定の特別養護老人ホームの 起工式が建設予定地で行われました。

当事業は**医療法人豊秋会**が母体となり社会福祉法人**日ノ御子会**を設立し、施設の開設準備を進めています。

施設の名称は特別養護老人ホーム韮生郷で、 入居者定員29名、短期入所1名の合計30名。 市民が優先して入居できる地域密着型です。

建物は耐火木造2階建て、構造部分には阪神 淡路大震災に耐え、東日本大震災の津波にも耐 えた特殊な木と工法を使用し、地震対策をとっ ています。完成は今年10月下旬の予定です。

種別

日本消防

協会影

高知県

知事表彰

受章名

永年勤続

功労章

精績章

勤続章

功績章

永年勤続

功労章

勤続章

功績章